

～釜山の新名所はヒントの宝庫～

下関市総合政策部国際課
(釜山広域市派遣職員)
高野 良之

釜山を訪れる観光客にとって、最近特に人気の場所の一つが「甘川文化村（カムチョンムヌアマウル）」です。今回は、一般的な観光地とは一味違うこの「甘川文化村」を紹介したいと思います。

(1) 甘川文化村とは

甘川村は、元々朝鮮戦争で釜山に避難してきた人々が住みやすい平地に住居を確保することができなかつたために、山裾に沿うような形で階段状に住居を形成することによってできた村です。戦争終了後も故郷に戻ることができず、厳しい住居環境の下で生活してきましたが、経済発展や住居の老朽化に伴い村を離れる人が増え、過疎化の一途をたどっていました。

しかし、遠くから見るとおもちゃ箱のようにカラフルできれいな甘川村を保存したいと思っている方がたくさんいました。2009年、国の「まちおこし美術プロジェクト事業」をきっかけとして、地域芸術家、住民そして行政が協力し、集落を最大限保存した上で、地域一帯に芸術作品を設置することにより「韓国のマチュピチュ」とも呼ばれるおしゃれな文化村として見事に再生しました。現在では年間30万人以上の観光客が訪れる人気スポットになりました。



カラフルな地域の風景



まちの高台から見える釜山港

(2) 特徴

甘川文化村の特徴は、なんといっても住民が生活している空間の中に文化があるということです。観光客は入口で購入するマップを活用しスタンプラリーをしながら地域の文化施設、芸術作品等を見ていきますが、そこは住民の方々が普通に生活している空間でもあるのです。そのため、観光客は住民の方々に配慮しながら観光しなければなりません。

まちを歩いていくと様々なアートに出会えます。家の壁に書いているかわいい絵や、通りのふとしたところに展示されている作品、また新たな作品を作っている芸術家達の様子など、文化村全体のカラフルできれいな景色を見ながらこのような芸術に触れるような仕掛けが工夫されているのです。

スタンプラリーに従いゆっくりまちを歩くと2時間程度の所要時間で、歩く距離としてちょうどいい所も魅力の一つです。



芸術作品を楽しむ観光客



一番人気？星の王子様

(3) まちづくりのヒント

この甘川文化村ですが、まちづくりに携わっている方々から特に人気があります。おそらくまちづくりのヒントがたくさん眠っているからなのではないかと思います。決して新しくつくったまちではなく、お金をたくさんかけているわけでもない。今あるものに少しアクセントを加えただけで、多くの観光客が訪れる魅力的なまちに変わっている。私たちのまちもこのような場所がたくさんあり、同じような方法で魅力的に変えることができるのではないかという可能性を感じさせてくれるのです。もちろん、ここまで観光客が訪れるようになったのには、釜山市の積極的な営業・広報活動があったことは言うまでもありません。

みなさん、どうでしょうか。このありそうでなかった釜山の新たな観光名所に是非一度足を運んでみて下さい。